

 JWRC 水道ホットニュース	(財)水道技術研究センター 〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-8-1 虎ノ門電気ビル2F TEL 03-3597-0214, FAX 03-3597-0215 E-mail jwrhot@jwrc-net.or.jp URL http://www.jwrc-net.or.jp
---	--

我が国の水道における紫外線処理設備の導入状況について (平成20年3月末現在)

(はじめに)

財団法人水道技術研究センターでは、紫外線処理設備の導入に当たっての技術支援（紫外線照射装置JWRC基準適合認定等）を開始したところですが、これに関連して紫外線処理設備の導入状況についての問い合わせが寄せられています。このようなことから、日本紫外線水処理技術協会の会員企業の協力をいただき、我が国の水道における紫外線処理設備の導入状況（平成20年3月末現在）に係るアンケート調査を実施し、その結果をとりまとめたので、お知らせするものです。

なお、本アンケート調査の対象は、水道（上水道、簡易水道、専用水道、簡易専用水道、貯水槽水道）を対象として納入された紫外線照射装置（処理設備）とし、契約済段階及び工事中の段階のものも含めています。

紫外線処理設備の導入状況（通水開始年度別、処理水量別及び処理対象水別）について

「通水開始年度別、処理水量別及び処理対象水別」にみた紫外線処理設備の導入状況は、下表のとおりである。

1. 通水開始年度別にみた紫外線処理設備の導入状況（表1）

今回の調査によれば、紫外線処理設備が最初に水道に導入されたのは平成16年度である。平成18年度以前の導入目的は、消毒の多重化、消毒強化となっているが、改正省令が施行された平成19年度以降は、クリプトスポリジウム対策及び不活化となっており、平成20年度は導入が進み処理水量も増加していることが伺える。

2. 処理水量別にみた紫外線処理設備の導入状況（表2）

処理設備規模は60 m³/日～24,000 m³/日の範囲となっている。

規模の小さな水道への導入事例が多いが、1万 m³/日以上規模の施設にも導入されている。

3. 処理対象水別にみた紫外線処理設備の導入状況（表3）

「地表水以外の原水」を対象とした処理水量は38,411.5 m³/日で、全体の43.5%である。また、「浄水」を対象とした処理水量は2,243 m³/日で、全体の2.5%である。一方、「濾過池等洗浄排水、沈殿汚泥等分離水」を対象とした処理水量は47,716 m³/日で、全体の54.0%であり、浄水施設における排水処理においても、クリプトスポリジウム対策として紫外線が用いられていることがわかる。

表 紫外線処理設備の導入状況

(契約済段階のもの及び工事中の段階のものを含む。平成20年3月末現在)

表1 通水開始年度別

通水開始年度	件数	計画一日処理水量 (m ³ /日)
平成18年度以前	4	23,679.0
平成19年度	7	5,351.0
平成20年度以降	8	59,340.5
計	19	88,370.5

表2 処理水量別

処理水量	件数	計画一日処理水量 (m ³ /日)
1,000 m ³ /日 未満	8	1,199.5
1,000 m ³ /日以上～10,000 m ³ /日未満	8	23,171.0
10,000 m ³ /日以上～100,000 m ³ /日未満	3	64,000.0
計	19	88,370.5

表3 処理対象水別

処理対象水	件数	計画一日処理水量 (m ³ /日)
地表水以外の原水	11	38,411.5
浄水	1	2,243.0
濾過池等洗浄排水、沈殿汚泥等分離水	7	47,716.0
計	19	88,370.5

(注)表1～表3は、アンケート調査先である企業からの回答の内容を整理しものであり、導入総数と一致しないことがある。

(担当) 浄水技術部

配信先変更のご連絡等について

「JWRC水道ホットニュース」配信先の変更・追加・停止、その他ご意見、ご要望等がございましたら、会員様名、担当者様名、所属名、連絡先電話番号をご記入の上、下記までE-メールにてご連絡をお願いいたします。

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-8-1 虎ノ門電気ビル2F

(財)水道技術研究センター ホットニュース担当 E-MAIL : jwrchot@jwrc-net.or.jp

TEL 03-3597-0214 FAX 03-3597-0215

また、ご連絡いただいた個人情報は、当センターからのお知らせの配信業務以外には一切使用いたしません。